

JAうらほろ

2025
11
No.709

JAうらほろ感謝祭

うらほろ感謝祭



豆・加工品販売

10月25日、農業会館前特設会場で「うらほろ感謝祭」を開催しました。当日は肌寒い気温でしたが、晴天に恵まれ、多くの方にご来場いただきました。

本部席では、今回飲料販売のほか、子どもを対象としたスタンプリーを行い、全てのスタンプを集めた子どもたちにお菓子をプレゼントしました。

13時30分からは大抽選会を行い、景品として浦幌町産の原材料が使用されている十勝まんぷく餃子や砂糖セツトのほか、北海道産ゆめびりか等が用意され、当選者には林組合長より景品が手渡されました。



会場の様子



詰め放題の様子

農産物コーナーでは、ジャガイモの新品種「ゆめいころ」と玉ねぎの詰め放題のほか、ごぼうや大根などの野菜やR7年産の金時豆・小豆の量り売り、白花生の甘納豆・白花生ようかんなどの農産物加工品を販売しました。

馬鈴薯・玉ねぎの詰め放題が人気で、多くの方が訪れていました。

畜産物コーナーでは、うらほろ和牛ハンバーグが販売され、沢山の方が購入していました。



お菓子を拾う子どもたち



抽選会の景品を手渡す林組合長（右）



お菓子をまく林組合長（左から2人目）と
佐藤専務（左から4人目）

令和7年 J A



大型トラクター・農業機械の展示

購買ブースでは、スタッドレスタイヤの予約販売をはじめ家庭用の電動工具や資材品、除雪機や高圧洗浄機などが展示され、展示コーナーの大型トラクターや農業機械では運転席への試乗体験が行われました。



タイヤ販売



車の展示

飲食コーナーでは、一昨年よりキッチンカーに出店をお願いしております。今回は新たに、豊富なフレイバーと合成着色料を使用せず天然素材ならではの優しい色合いと風味が特徴のポップコーン専門店『ジェリーズポップコーン』が出店しました。そのほかにも、十勝産牛肉を使用したステーキ牛丼を販売する『肉と米』、SNS映えるクレープが人気の『Crepes 三SOTA (クレープミソラ)』、浦幌町産のタコを使用したたこ焼きを販売する『神だこ』、浦幌木炭を使用し、香ばしく焼きあげた若どりレッグ炭火焼が売りの『トカチチキン』、さらに豊頃町大津の海産物を使った具材と、当麻町産のこだわりのユメビリカを使ったおにぎりを販売する『おにぎり屋 風』にも出店していただきました。どのキッチンカーも多くの方にご来場いただき、好評でした。



来場者で賑わうキッチンカー



北海道糖業㈱では、砂糖消費PRを行い訪れた方へスティックシュガーがプレゼントされました

1 級農業機械整備技能士を取得

10月27日、『1級農業機械整備技能士』を取得した購買部燃料車両課車両整備係の原田知広さんに、農業会館にて林組合長より免許状プレートが手渡されました。

農業機械整備技能士は、トラクターやコンバインなどの農業機械の整備・保守に関する技能を証明する国家資格です。資格を取得することで、農業機械の専門的な知識と技術を持つことが証明されます。

原田さんは「このたび、農業機械整備技能士の資格を取得することができ、大変うれしく思います。資格取得にあたり、ご指導いただいた先輩方や応援してくださった皆さまに心より感謝申し上げます。これからも安全で効率的な農作業を支えられるよう、日々精進してまいります。」と話しました。



手渡される様子



プレートを手にする原田さん

大豆コントラ収穫



大豆収穫作業

10月4日、本所地区から営農販売部営農サポート課による豆の収穫作業が始まりました。申し込みのあった166・5haの刈り取りを進め、大豆の反当りの収量は6・02俵の見込みとなっています。

ビート収穫開始

10月4日から早出し分ビートの収穫作業を開始し、20日からは通常輸送も始まりました。貯蔵出庫分については、12月1日から12月中旬を予定しています。

今年度の作付面積は1,176haで、昨年度の1,216・48haより40ha減少しました。予想収量は60t/ha、10月中旬時点で平均糖分14・7%（範囲：12・7～16・1%）となっています。

ビート担当者は「現段階では、大きな支障はなくおおむね順調に進んでいる」と話しました。



積み込みの様子

青年部活動（子ども農業体験学習／脱穀）

10月16日、子ども農業体験学習を浦幌町立浦幌小学校（山上文博校長）の3年生19名を対象に開催しました。

今回は6月に播種し、9月17日に陰干したバケツ稲の脱穀を行いました。川畑副部長より紙パックを用いて行う脱穀の方法を教わり、児童たちは教わった通り黙々と作業を行っていました。また、すり鉢とすりこ木を用いて「もみすり（もみ↓玄米）」を実演し、「次回までに『もみすり』と『精米』を行なってください。」と伝え、今回の学習会は終了しました。

担任の高田先生は参加盟友との会話の中で

「同時に栽培していた陸稲と食べ比べできたら面白いかもしれせんね」と話されていました。



脱穀の様子



「もみすり」の様子

信用部防犯研修・防犯訓練

10月9日、農業会館役員室で融資課・貯金課・上浦幌支所管理課の職員を対象に防犯研修会を行いました。

研修会は、浅利信用部長と廣富貯金課長が講師となり、金融機関等における強盗事件の事例に沿って防犯マニュアルや、役割分担と連絡体制について説明が行われたほか、横領事件についてまとめた動画を視聴し、万が一の事態に備えた対処法を確認しました。

10月10日には、上浦幌支所金融窓口にて拳銃を持った犯人が現金を要求し、ガソリンをまいて火を付けるフリをして逃走するという設定で模擬訓練が行われました。怒号が響き、緊張感のある現場でしたが、金融窓口職員はJAうらほろ防犯マニュアルに基づいて対応しました。

防犯研修の様子



防犯訓練（拳銃を持った犯人）

農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員の皆さんへのメッセージ

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 樽 井 功



昭和22年11月19日に農業協同組合法が公布されてから78年が経過しました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織を通じて農業生産力の向上と農業者の地位向上を図り、国民経済の発展に寄与することを目的に制定されたこの法律により、農業協同組合が誕生しました。

農業協同組合は「農業者による農業者のための組織」として、自主・自立、民主的運営を基本に、相互扶助の精神のもと、組合員の営農と生活の安定、地域社会の発展に貢献してきました。

一方、現在、農業・農村を取り巻く環境は大きな変革期を迎えています。気候変動による猛暑や豪雨、円安による資材高騰、国際的な食料需給の不安定化などが農業経営に影響を与えています。

昨年、農政の憲法とも言われる食料・農業・農村基本法の改正により、国民一人一人の食料安全保障の確保と環境と調和のとれた食料システムが基本理念として位置付けられ、世界的な食料需給の不安定化による輸入リスクの増大、環境問題への対応など、日本の農政は大きな転換点を迎えています。

J Aグループ北海道は、改正基本法に基づく農業構造転換対策の予算確保、食料安全保障の強化、持続可能な北海道農業の確立に向けて、組合員の声を国政に届ける活動を継続しています。

国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標（SDGs）に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年に決めました。

この国際協同組合年を契機に、協同組合の力を再認識し、地域課題の解決と安心して豊かな未来の創造を目指しましょう。

最後になりますが、J Aグループ北海道は、組合員との対話活動を一層強化し、協同組合の理念と精神を組織結集力につなげ、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJ Aの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

タンチョウの農業被害対策について（環境省 北海道地方環境事務所） 第6回 生態・現状等と農業被害対策【畜産編2】

環境省 北海道地方環境事務所です。今月もタンチョウの生態や農業被害の対策等についてご紹介していきます。

◆タンチョウの生態・現状等 【秋～冬の移動】

朝晩は気温が下がり、氷点下になる日も出てきました。この頃から越冬地への移動が始まります。環境省ではタンチョウ保護増殖事業の中で、冬の自然環境下での餌不足を補うため、鶴居村や釧路市阿寒町に設置された3箇所の給餌場で給餌を行っており、冬は多くのタンチョウが給餌場周辺に集まってきます。夜間は給餌場周辺の凍らない河川など安全な場所ではぐらをとおり、昼間は給餌場に飛来して餌を食べるという生活が続け、厳しい冬を乗り切ります。家族は幼鳥を伴って給餌場まで移動し、給餌場では12月初旬から飛来する個体数が増え始めます。発信器を付けたタンチョウによる記録では、平均的な飛行速度は時速40～50kmでした。浦幌町から給餌場のある鶴居村であれば、直線距離で70kmほどなので、1時間半ほどで移動できる計算になります。

近年ではサロベツ原野で夏を過ごした個体が、越冬のため300kmほど離れた鶴居村まで移動し、その後3月に再びサロベツ原野まで

戻ったことが確認されています。現在、国内でのタンチョウの移動は基本的に北海道内にとどまっていますが、かつて江戸時代までは冬期に北海道から本州まで移動していたようです。

◆タンチョウの農業被害対策 【畜産編2】

タンチョウによる農業被害として畜産に特徴的なものとしては、①畜舎等に侵入し、家畜を驚かせてしまう・餌を盗食する ②ロールサレージのフィルムやバンカーサイロのシートに穴をあけてしまう 等が挙げられ、先月号では①についての対策をお伝えしました。

②については、ロールサレージでは、タンチョウ同様にフィルムに穴をあけてしまうカラスへの対策として、チューブパックの上にタイヤなどを置き、ロールとの隙間を確保した上で防鳥ネットを敷設して被害を防いだ実例があります（写真2）。バンカーサイロでは、タイヤを載せてシートとの隙間を確保し、その上から防鳥ネットを敷設することや、使用しない期間は土で被覆してしまうことなどが有効です。バンカーにタイヤを載せる際はタイヤを2段階むとシートとネットの間隔を広くとることができるとともに効果的です。サレージの使用中は、開口部を開けっ放しにせず、使用

後にはシートなどで覆いましょう。もちろんサイロ付近でタンチョウを見かけた場合は、積極的に追い払いを行ってください。

― 次回12月号に続きます ―



写真2 フィルムへの穴あけ対策
（タイヤを載せて防鳥ネット敷設）



写真1 バンカーサイロに現れた
タンチョウ

新パズル(11月)

ニ	ジ	ヨ	ウ	サ	ン	ゼ	ル	ヒ
ヨ	ネ	ヤ	マ	サ	モ	セ	イ	エ
ン	ノ	ヒ	ウ	マ	ヤ	ワ	ミ	イ
ザ	ハ	コ	ダ	テ	ヤ	マ	シ	ザ
ウ	ツ	ヤ	ギ	ミ	マ	マ	ワ	ン
ロ	ン	マ	ゾ	リ	キ	ヤ	サ	サ
キ	ザ	サ	ヤ	サ	ヤ	エ	サ	オ
セ	ン	マ	ン	サ	ギ	マ	ア	カ
ニ	セ	コ	ア	ン	ヌ	プ	リ	タ

天城山^{アマギサン} (静岡県・1,406m)・石巻山^{イシマキサン} (愛知県・358m)
 恵山^{エサン} (北海道・618m)・笠山^{カサヤマ} (埼玉県・837m)
 石老山^{イシロウサン} (神奈川県・702m)・先山^{サシサン} (兵庫県・448m)
 高尾山^{タカオサン} (東京都・599m)・二上山^{ニジョウサン} (奈良県・517m)
 ニセコアンヌプリ (北海道・1,308m)
 鋸山^{ノコギリヤマ} (千葉県・329m)・函館山^{ハコダテヤマ} (北海道・334m)
 比叡山^{ヒイサン} (滋賀県・848m)
 蒜山^{ヒルセン} (鳥取県、岡山県・1,202m)
 弥山^{ミヤマ} (広島県・535m)・三輪山^{ミワヤマ} (奈良県・467m)
 弥彦山^{ミコヤマ} (新潟県・634m)
 八溝山^{ハツミサン} (茨城県、福島県・1,022m)
 米山^{コメヤマ} (新潟県・993m)・六甲山^{ロクコウサン} (兵庫県・931m)

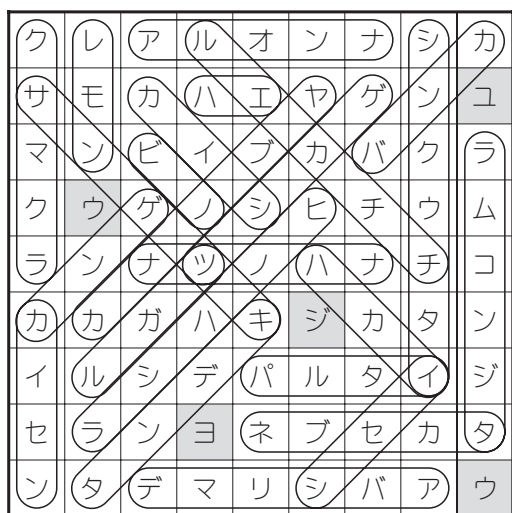
□ 解き方

2001年12月に雑誌で紹介された標高1500m以下の山々から選ばれたのが「日本百低山」だそうです。
 使わなかった文字を左上から並べてできる山名をお答えください。

□ 発表

正解は本紙12月号に掲載します

※ご意見・ご要望等ございましたら、企画振興課教育情報係までお問合せ下さい。(TEL: 578-7068)



10月号の 答は ANSWER

友情 (武者小路実篤) でした



第8回 理事会



10月27日、役員室において理事会を開催し、議案7件について審議され、原案通り承認されました。

○ 議案

- ・令和7年8月農事組合懇談会の意見・要望に対する回答について
- ・本所事務所の建築について
- ・第6回臨時総会までのスケジュールについて
- ・令和7年度賦課金の徴収について
- ・理事に対する資金の貸付について
- ・令和7年産原料てん菜の取扱い及び概算支払いについて
- ・令和7年産大豆の取扱いについて

○ 報告事項

- △総務部▽
- ・組合員の加入並びに脱退について

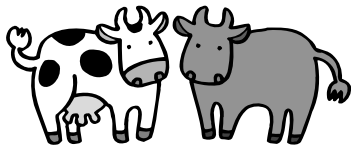
○ 協議案

- △信用部▽
- ・農産動向について
- ・生乳生産動向について
- △その他▽
- ・令和7年度 農事組合長研修視察の行程について
- ・インサイダー取引の防止について
- ・令和7年11月臨時農事組合懇談会の参集範囲並びに日程(案)について

人事異動

・退職 (令和7年9月30日付)
 板倉 和貴 (営農販売部農産課農産係)

ちくさん情報



詳しくは
宮農販売部
畜産課まで
お問い合わせ
下さい
☎576-4115

◎ホクレン十勝家畜市場

・育成市場（10月9日）（単位：円 ※税込み価格）
販売頭数 最高価格 最低価格 浦幌平均価格 十勝平均価格
育成牛 14 331,100 55,000 217,171 261,738

・乳牛市場（10月6日）（単位：円 ※税込み価格）
販売頭数 最高価格 最低価格 浦幌平均価格 十勝平均価格
初妊牛(ET除) 4 657,800 541,200 580,525 621,279
初妊牛(ET) 0 0 0 0 803,038
経産牛 0 0 0 0 480,162

・乳牛市場（10月21日）（単位：円 ※税込み価格）
販売頭数 最高価格 最低価格 浦幌平均価格 十勝平均価格
初妊牛(ET除) 4 700,700 555,500 629,475 606,401
初妊牛(ET) 4 808,500 705,100 770,550 839,592
経産牛 0 0 0 0 522,259

次回市場 育成牛 12月11日（農協順：13）
乳牛 12月9日（農協順：3）
1月市場 育成牛 1月15日（農協順：7）
乳牛 1月13日（農協順：4）
乳牛 1月27日（農協順：16）

・肉牛市場（10月2日）（単位：円 ※税込み価格）
販売頭数 最高価格 最低価格 浦幌平均価格 十勝平均価格
和牛素牛(去勢) 55 873,400 350,900 661,500 750,323
和牛素牛(雌) 40 777,700 225,500 574,695 622,305
繁殖雌牛 7 954,800 536,800 735,429 704,267
廃用牛 16 740,300 337,700 459,319 476,027

次回市場 12月2日・17日
（農協順 黒毛：3・交雑牛：1）
1月市場 1月8日・22日
（農協順 黒毛：2・交雑牛：2）

◎ホクレン十勝枝肉市場（10月市場平均）

（単位：kg/円 ※税抜単価）

和牛 A-5 A-4 A-3 A-2 平均単価
2,233 2,041 1,787 2,162
AB-5 AB-4 AB-3 AB-2 平均単価
交雑種 1,936 1,681 1,500 1,371 1,669

次回市場 12月6日・13日
1月市場 1月17日

◎初生犢の集荷は、十勝中央家畜市場対応となり、下記の日程で集荷致します。

◎十勝中央家畜市場

12月開催日
2日・5日・9日・12日・16日・19日・23日・26日
1月開催日
5日・9日・13日・16日・20日・23日・27日・30日

◎畜産公社出荷日 11月都度協議

◎畜産物の販売希望者は、早めに畜産課へご連絡下さい。
集荷には特段のご協力をお願い致します。尚、初乳は充分与えて下さい。

◎きれいに搾って素早く冷却

◎めざせランク1 = 体細胞数30万以下、生菌数1万以下

へ農場の牛の遺伝能力を向上させる①

優秀な種雄牛を造成する後代検定や関係する各事業等、牛の遺伝能力を向上させる取組が日々行われています。今後も牛の遺伝能力改良が行われ、遺伝能力の高い個体の価値が高まることが予想されます。

農場で牛の遺伝能力を向上させる方法として、優れた種雄牛を人工授精や受精卵移植で取り込む等が挙げられますが、目に見える結果を出すことは容易ではありません。その理由として、2つ挙げられます。1つ目は、

農場の牛の遺伝能力の向上は個体ではなく群全体で実現することと成立するためです。2つ目は、父母が優秀な牛であっても生まれる子の持つ遺伝能力は様々な理由からランダムになるためです。

以上のことから、農場の牛の遺伝能力を向上させるためには多くの時間を要します。しかし、時間を要する分利点は多くあると思いますので、次回は遺伝能力改良の利点と欠点について紹介させていただきます。

◎浦幌町の乳牛頭数（搾乳農家）9月

経産牛			育成牛	合計
搾乳牛	乾乳牛	計		
4,989頭	682頭	5,671頭	2,622頭	8,293頭

◎生乳生産量（9月出荷分）

実績乳量	前年実績対比	9月実績乳量	9月前年対比	搾乳牛1日1頭当乳量
4,568 t	101.6%	28,171 t	102.0%	30.5kg

◎生乳成分と乳代単価（9月）

項目	脂肪率 %	無脂固形分 %	単価内訳 (円)			
			生乳単価	補給金単価	集送乳調整金	合計
平均						
浦幌町	3.95	8.86	121.33	6.57	1.97	129.87
十勝	3.96	8.83	121.3	6.57	1.97	129.84
全道	4.03	8.82	122.25	6.57	1.97	130.79

※乳代について(令和2年4月分より共販経費控除前の金額を使用しております。)

◎衛生的乳質検査結果（9月）

ランク	生菌数			体細胞数	戸数
	1	2	3	1	
浦幌町	103 (92.7)	6 (5.4)	2 (1.9)	69 (70.4)	37
十勝	2,737 (97.3)	63 (2.2)	12 (0.5)	2,389 (89.9)	938
全道	11,975 (95.8)	490 (3.9)	22 (0.3)	9,778 (84.9)	4,169

※上段は3旬計の件数：下段（ ）は%

社会人アイスホッケーチーム

「浦幌BeersNEXT」設立

令和7年9月、浦幌町に新たな社会人アイスホッケーチーム『浦幌BeersNEXT（ビーズネクスト）』が設立されました。チームには、上浦幌支所購買課の谷山係長（代表）と本所の菊地融資課長が所属しており、ユニフォームには、当JAを含む協賛企業のロゴがプリントされています。

チーム設立の背景には、かつて存在していた社会人チームが解散したことで、町内のアイスアリーナ（1994年11月4日落成）の存続が危ぶまれる状況がありました。

谷山勇太代表は「浦幌町のアイスアリーナは当時、子どもたちの想いを大人たちが叶える形で建設された施設でした。自分たちが大人になった今、大人達が『楽しく、真剣に』アイスホッケーをプレーする姿を見てもらう事で、浦幌町の氷上競技が、子どもたちにとって一生の仲間と出会うきっかけになる事を期待し、町内の氷上競技に関わる企業の皆様と経験者を中心にチームを結成しました。」と語りました。

また、10月23日には、幕別浦幌アイスホッケー少年団とのエキシビジョンマッチも行われ、世代を超えた交流の場となりました。



協賛のお礼に林組合長（中央）を訪れた
谷山係長（右）・菊地課長（左）

◎今年度より増刊号として家計簿のみの販売をします◎

（『家の光』12月号に別冊付録としては付きません）

家の光

IE no HIKARI

『家の光』増刊号
2026年 家の光 家計簿 日記付き

●定価 660円（税込）（11月1日発行）

お申し込みはお近くのJAへ

JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11
TEL 03-3266-9039 <https://www.ienohikari.net/>

編集後記

秋も深まり、木々の葉がひととき鮮やかに色づく季節となりました。朝夕の冷え込みも一段と増し、澄んだ空気がともに冬がすぐそこまで近づいてきているのを感じます。ついこの間まで冷房をつけて過ごしていたのが嘘のように、気温の急な変化に体がなかなか追いついておりません。

25日は、寒い中「JAうらほろ感謝祭」に多くの方々にご来場いただき、誠にありがとうございました。皆さまのおかけをもちまして、盛況のうちに終えることができましたこと、心より感謝申し上げます。これからも地域の皆さまに喜んでいただけるよう、努めてまいります。是非、次回もお越しください。

カレンダー

※ 行事日程は変更になる場合があります。

日	事 項
11/18	JAうらほろ女性研修交流会～19日
22	コンプライアンス研修会
26	第9回理事会
28	臨時農事組合懇談会
12/4	農事組合長研修視察～5日
8	令和7年度東部十勝JA役員研修会～9日